

# 美香ちゃん

発行：青木美香後援会  
事務局：南極昭和基地  
編集責任：鈴木 裕

## ミカちゃん万歳

安藤 久男

まだかまだかと待っていた「ミカちゃん後援会機関誌第二号」がやっと出た。早くから原稿を書いて持っていたのは、きつとぼくだけだろう。

聞くところによると、後援会はその活動を倍加し、支部が出来たそうである。というのは、越冬隊員二九名中一〇名が内陸旅行へ出かけるため、発展的分裂を生じたわけだ。しかしこのため、深刻な問題が隊内に出てきた。すなわち、支部は基地か旅行隊かという問題である。

会長の小元隊員は、旅行隊があくまで本部であると主張し、全体会議で新会長に任命された鈴木裕隊員の属する基地では、あくまで正統を主張している現況である。

しかし、ぼくはどちらでもいい。ミカちゃんが、さらに美しく立派にタレントに成長されることを念願している。

「ミカちゃん万歳！」

編註

本稿は旅行出発前々日に、越冬報告書作成を中止して書きあげて頂いたものです。多謝多謝

## 往復信記録

○ 十月二九日発信

益々ご活躍の様子、後援会一同喜んでいきます。

十一月一日より九〇日間の予定で、一名の会員が内陸調査に出掛けます。ダンス、ツリ大会など送別の宴を設け、二九名楽しい一刻を持ちました。女性のいないダンスも良きもの。しかし、帰国の節は、ミカちゃん初め素敵な女性をパートナーに一夜を踊り明かしたく、クラシックからラテン、民謡、フォークダンスに至るまで、練習に励んでいます。

調査旅行出発と共に、南極大陸上に支部が発足することになります。支部には本後援会を育成、発展させてきた小元初代会長を初め有力メンバーが派遣されます。支部会員へも基地本部会員同様お便り下さい。

なお、二五日に二代目会長に鈴木裕、初代事務局長に村上捷征両隊員を選出しました。

○ 十月三 日受信

基地に便りをして帰ると、支部が出来た嬉しい便りが待っていた。鈴木、村上両氏御苦労様。よろしくお願ひします。支部への便りの仕方を教えてね。短波、十二月十七日より開始されることになりま

した。

隊員会員の皆様、間もなくお耳にかかれますね。

ミカ

### 内陸旅行隊員より

#### ミカちゃんへのメッセージ

セツジヨウシアトトモニコイビトノウタラクチズサ

ミッツ

石渡

アナタノコエガナンキヨクノソラヲトビマワルトソ

ラハバライロニカワル

安藤

アナタノレコードマイバンキイテスリキレテシマツ

タ

吉川

ミカチャンヤ、アーミカチャンヤミカチャンヤ

木村

ナイリクノミチワミカチャンニアエルミチニツウジ

ル

前田

ライネンサンガツスエノヨイデートコースヲシラベ

テオイテネ

成瀬

メッセージを順次打電したいと思います。

また、基地本部会員諸君のメッセージも、頂きたいと思  
います。よろしく。

(会長)

### 編集後記

石田、吉川、浅野の三会員の原稿を頂いております。お  
楽しみ。

原稿は何時でも大歓迎です。どしどしお寄せ下さい。